



◀ レストラン（左）などを併設した井戸江峡キャンプ場のリニューアルイメージ

井戸江峡キャンプ場を全面リニューアルします

グランピング体験施設にレストランやショップを併設

■ 観光施設整備で交流人口 拡大と滞在時間延長を図る

町では、交流人口の拡大を目指して、家族連れや若者をメインターゲットとした新たな観光交流拠点施設として、井戸江峡キャンプ場の全面改修を行っており、来年春の完成を目指しています。

同キャンプ場は新甲佐発電所新設工事のため平成24年から休業していましたが、その後の熊本地震による被害や施設の老朽化の影響もあり、既存の施設を解体。現在、手軽にアウトドアを楽しめるグランピング体験施設として整備を進めています。

新たなキャンプ場は、グランピングが可能なキャンプレース（4・8平方メートル）4カ所とキャンプサイト（1・2平方メートル）4カ所を整備し、レストランやショップなどを併設します。

町では、施設の完成によって、これまで日帰りを中心だった来町者の滞在時間の延

長を図り、地域経済のさらなる活性化を目指します。

■ 関係者が出席した起工式 で工事の安全を祈願

9月24日（火）既存施設の解体を終えた同キャンプ場で、井戸江峡キャンプ場整備工事が起工式が開催されました。

同式は、松島建設（株）主催で執り行われ、奥名克美町長や蔵田勇治教育長など町関係者や建設関係者ら約20人が出席して工事の安全を祈願しました。

▼ お問い合わせ先

町地域振興課

☎ 096-234-1154



▲起工式であいさつする奥名町長

子育て世帯、新婚世帯を支援

子育て支援住宅が完成しました

町が役場東側に整備している「住まいの復興拠点施設」の内、子育て支援住宅「ヴェルデ甲」が8月末に完成しました。

9月から子育て世帯や新婚世帯の入居が始まっており、子どもたちのにぎやかな声があふれています。



● 住環境に優れ、子育て世帯に配慮した設計

町が役場東側に整備していた子育て支援住宅「ヴェルデ甲」が8月末に完成し、9月より子育て世帯の入居が始まりました。

同住宅の周辺には、甲佐町役場や小学校、病院などに加えてスーパーマーケットなど子育てをする暮らしに最適な環境が整っており、住宅南側には防災公園が整備されるなど住環境に優れています。

構造は、鉄筋コンクリート造、地上3階建て、建築面積が841・24平方メートル。2LDK20戸に、子育てサロンとして集会室を設置しています。住戸別の床面積は、約73平方メートルです。プライバシーを十分に確保しながら、子育て世

帯同士の交流を促し、立ち話など気軽にできる広い玄関土間や共用廊下を備えています。1階エレベーターに隣接した集会室は開放的な出入り口により立ち寄りやすい空間、豊の小あがりスペースを設け、学校帰りの子どもなどが過ごしやすいような空間となっています。

● 条件に応じて家賃の減額が受けられます

町では、子育て世帯や新婚世帯を支援するため、条件に応じて入居者の家賃減額を行っています。

子育て支援住宅への入居に関する詳細については、町建設課までお尋ねください。

▼ お問い合わせ先

町建設課

☎ 096-234-1183